

国 語

科目名	単位数	学 年	学 科
現代の国語	2単位	1年	農・普科

教科書	高等学校 標準現代の国語 (第一学習社)	副教材	常用漢字ダブルクリア (尚文出版)
-----	-------------------------	-----	----------------------

科目の目標	<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <p>(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。</p>
-------	---

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 世界を広げる 言葉が開く世界 生活の中の表現 	<ul style="list-style-type: none"> 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解し、活用している。 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用している。 文章の効果的な組み立て方や接続のしかたを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握している。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する方法を身に付けている。 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、説明のしかたや表現のしかたを工夫する方法を身に付けている。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 人間と文化 生活の中の表現 話して伝える 		
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 社会と人間 現代と社会 書いて伝える 		

1 実社会に必要な言葉の知識や技能を身に付けるためにもたくさんの種類の本を読もう。
2 文章の内容を的確に捉え、それに関する自分の考えを深めよう。
3 自分の意見を他者に理解してもらえよう、表現のしかたを学ぼう。

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めようとしている。
③	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
定期考査	1学期中間・期末 2学期中間・期末 学年末 (計5回)	
評価方法	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能 (定期考査、ファイル提出) ②思考・判断・表現 (定期考査、レポート・課題提出、意見発表) ③主体的に学習に取り組む態度 (授業中の発言、レポートや意見発表の自己評価・相互評価)	